

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

<編集発行>

〒194-0011 町田市

成瀬が丘 1-14-12

サンホワイト E103-13

自宅 042-795-7361(fax 兼用)

市議会議員 吉田つとむ

yoshidaben@gmail.com



小田急多摩線延伸を促進する会の議員意見と住民から見た期待

横浜市が推進してきた地下鉄路線の延伸実績を聞く

相模原市立産業会館で開催された「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟研修会」に参加しました。今回は、神奈川東部方面線事業の概要などについて、横浜市交通政策部の松井恵太郎長からお話を伺い、鉄道ネットワークの発展が地域にもたらす可能性について改めて学ぶ機会となりました。横浜市は市営地下鉄線をその郊外方面(田園都市線あざみ野駅—小田急線新百合ヶ丘駅)への延伸に力を入れているところです。

他方で、町田市や相模原市は自前の鉄道(地下鉄を含む)を持っておらず、小田急などの私鉄路線や東京都が主体の多摩都市モノレール路線の延長の施工決定ではその採算性がまず問われます。つまり、現状の地域状況から、何かが飛躍的に鉄道利用の改善に結びつく案を提示しないと、鉄道会社や東京都が開発事業費を出す決定はなかなか下りないということだと思っています。この日の会には、住民団体の皆さんも参加されており、小田急多摩線延伸の実現が見えてこない事態に対して、「議員はこれから何をするのか」という率直な問いかけがありました。町田市でも良く聞く「機運醸成」の掛け声を耳にしますが、住民参加者にはうんざり感があることが伝わりました。想定路線の中に(議員主導で)特徴的な開発構想を盛り込まないと、鉄道延伸は見えてこないと再認識した次第です。



少子化対策は進められているが、全体の人口減は変わらず

出生数を純増させてきた奈義町でも、人口減は阻めない

岡山県奈義町の合計特殊出生率＝「母の年齢階級別出生率」の合計出生数が2.95(令和元年)と突出していますが、子育て環境の向上と言うのは、行政が確固たる方針を持てばできるという見本の自治体と言われています。子育て支援の事業では、こども園と中学校の建て替えに費用の大半を「過疎対策事業債」を発行することで成り立っていますが、それは国の地方交付税措置の対象とされ、大半が国の支出で賄うことができるものです。その他にも個人に向けた子育て支援策のメニューがそろっています。



ただし、この奈義町でも人口流失は止めようがなく、一貫して人口総体は減少の一途をたどっています。自治体としての基礎的な生活基盤(就業、医療、高等教育、カルチャー施設や機関など)が徐々に減少、欠けていく状況は避けがたく、居住者が人口1万人にも満たない地方の山間地の「町」が存立していくのは至難の取り組みに見えました。

毎年参加する清溪セミナーの講義の一コマ

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田発技術を駆使使用した水耕栽培メロン 全国に広がる産地を結集、まずは日本一を決める

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員3名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

吉田つとむ



ブログ



個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第57期生が先行スタート。

私が訪問取材を受けた中学生2年生の社会科学習方法について

海城中学校の社会科学習の方法について

(前回の続き) 今回、中学2年生から社会科学の学習に関して訪問取材の申し込みがあり、内容を聞き快諾しました。(前回記述: 一般ゴミに混入したリチウムイオン電池が原因での発火が相次いでいることの問題とその解決方法の研究調査取材)



不燃ごみから、異物や資源物を取り出す作業を現場で見学。中学生は白Yシャツ姿

海城中学高等学校の中学校社会科では「社会Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と言う科目があり、2年生の内容は生徒一人ひとりが身近な社会問題や社会事象の中から学習課題を設定し、そこに関わる人々に取材しながら、研究対象の特徴や直面する問題について理解を深め、広く社会のありかたについて考えることを狙いに行っているとのことでした。

そのため、2年生の学習評価は生徒さん自身が設定した研究課題や基づく文献調査に加え、対面取材を条件としたレポート・論文提出をおこなう方法を取っているとのことでした。この取材を受けた私の感想は、「自分が質問に答える立場になって、時間制限が無い質疑応答になり、実に楽しい勉強の機会となった」と言うものです。また、ゴミ処理場の内部を中学生と一緒に見学でき、一瞬の隙間もなく異物や資源物を手選別する作業員の人たちの大変さを身近に見せていただけたわけであり、ご配慮に厚く御礼申し上げたいと存じます。

インターン体験記② 古閑 永都

講義Ⅱ 政治家、及び政治に関わる職業の特徴

今回は政治に関わる職及びそれらと住民との関係に関する講義を受け、その後議会内を見学しました。ひとくちに政治に関わる、と言っても多岐にわたる職種がありますが、今般は“議員秘書”に主眼を置いて書かせて頂きます。議員秘書は大きく公設と私設に分かれ、公設秘書は国から給料が発生するのに対し、私設秘書は議員が必要に応じて個人的に雇います。ただし公設秘書、という存在は国会議員に限った話で地方議員が秘書を設ける場合は全て私設となる上、地方議員が秘書を付けていることは非常に稀であるため、ここでは国会議員の話としてお読み下さい。



私立高校2年生 古閑 永都 (第57期生)

ところで公設秘書には政策秘書、第一・第二秘書があり、三名までを取ることができますがその採用は議員自身が決め、私設も雇っている議員は多数の勢力を司っています。しかし新興政党ではこの勢力図を党単位で決めている場合が多いそうです。これら新興政党には党規模の拡大を急ぐ傾向があり個人議員主導が主流となっている中で政党主導、という立場をとっています。この考え方の一環として議員の足並みを揃え、政策実現を党単位で進めるためにこのような形をとっているのではないかと私は考えました。とはいえこれは政党の成長には繋がりますが議員個人としての成長は望めるのでしょうか。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2025年10月末までに115名が参加しています。

◎57期生として、私立高校2年生の「こが えいと」さんのインターン研修が先行スタートしましたが、今回は政治家や議員はどういうものか、どのような役割を果たし、課題に取り組むかを講義しました。

*次期のインターンシップは、2026年春季第57期の受け入れで照会中です。